

ごあいさつ

当会(神奈川県信用農業協同組合連合会(略称「JA神奈川県信連」))は、昭和23年の設立以来、県内JAとともに「農業の専門金融機関」として農家経営の向上に資するとともに、「地域金融機関」として組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指した業務展開に努めております。

この度、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、最近の業績や業務内容を取りまとめた「DISCLOSE 2026」(ディスクロージャー誌)を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

令和7年度は、日本銀行が政策金利を引き上げる一方で、欧州・米国の各中央銀行は金融緩和姿勢を継続するなど、各国の金融政策の方向性が異なる不安定な環境が続きました。国内景気については、米国の通商政策や国内の物価上昇が下押し要因となったものの、年度を通じて緩やかな回復基調を保ちました。

しかしながら、年度末にかけては、中東地域における地政学リスクの顕在化により、市場の先行き不透明感から金融市場の変動性は高まっており、引き続き予断を許さない状況が続いております。

こうしたなか、市場環境の変化を捉えた収益力の強化に注力しつつ、中期経営計画(令和7～9年度)に掲げる5つの基本戦略に役職員一丸となって取り組み、当会の令和7年度決算については、所期の目標を達成することが出来ました。

わたしたちが経営理念に掲げる「農業と地域の未来を創る」は、将来においても変わることなく果たすべき使命であり、わたしたちは「経済」・「社会」・「環境」を意識したサステナブル経営を通じて、この役割を果たし続けます。

環境が大きく変化するなかでも役割を果たし続けるための具体的な戦略・戦術として、令和7年度を初年度とした中期経営計画の達成に向けた取り組みを進めています。

JAの地域特性・経営状況に即した課題解決型の「機能還元」や、「農業・地域活性化」への貢献、長期的な視点を踏まえた持続安定型の「収益還元」の実現に努め、組合員・利用者・会員JAをはじめとしたステークホルダーの負託に応え続ける所存でございます。

引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

